

| 科目区分 | 専門分野 | 授業科目 | 臨床看護総論Ⅱ（治療・処置別） |
|--|--|---------|-----------------|
| 講師名 | 岡本 諭(28) 齋藤 謙司(2) | 実務経験の有無 | 有 |
| 単位数（時間） | 1 単位（30 時間） | 開講年次 | 1 年次 第 2 学期 |
| 授業概要 *講師からのメッセージ | 診療の補助では診療に関わる看護技術を学ぶが、受け身で身に付くものではなく、主体的に技術を獲得しようという意欲を持ち、繰り返し練習してこそ身に付きます。基本的な根拠に基づく看護手順、技術提供前後の観察、判断事項を学び、心理面への配慮についても学び、対象一人一人に応じた看護援助が行えるようになって欲しいと思っています。 | | |
| 目的：看護実践の基礎となる診療援助技術を習得する | | | |
| 目標：1. 検査・治療の意義および看護師の役割が理解できる 2. 検査・治療実施時の介助方法および検体の採取方法が習得できる 3. 創傷を管理する技術としての包帯法などの保護方法を理解し実践できる | | | |
| 回 | 授 業 内 容 | 授業方法 | |
| 1 | 1. 創傷処置・創傷ケアを受ける対象者への看護 1) 創傷治癒過程 2) 創傷処置・ドレーン管理 | 講義 | |
| 2 | 創傷処置・創傷ケア ・滅菌物の取り扱いの実際 ・創洗浄と創保護 ・ガーゼ、フィルム材の交換（テープ・フィルム材のはがし方） | 演習 | |
| 3 | 3) 包帯の種類と巻き方 | 講義 | |
| 4 | 包帯法の実施 ・巻軸帯：伸縮包帯・弾力包帯・弾性包帯 ・布はく帯：三角巾・腹帯 | 演習 | |
| 5・6 | 2. 診察・検査を受ける対象者の看護 1) 身体侵襲を伴う検査・処置を受ける対象者への看護 2) 滅菌物の取り扱いと無菌操作法 3) 様々な検体検査と検体の取り扱い 4) 個人防護具の扱いと感染性廃棄物の扱い | 講義 | |
| 7 | 5) 静脈血採血法 | 講義 | |
| 8・9 | 静脈血採血の技術（モデル人形を用いた採血） | 演習 | |
| 10 | 3. 放射線療法を受ける患者の看護 1) 放射線の人体への影響とその効果 2) 放射線照射時の支援と有害反応への対応 | 演習 | |
| 11 | 4. リハビリテーションを受ける患者の看護 1) リハビリテーションの目的と多職種連携 2) リハビリテーション時の支援 3) 自動運動と他動運動 4) ベッドサイドでできる関節可動域訓練 <演習> 徒手筋力テスト（MMT） ベッドサイドでできる運動訓練 | 講義・演習 | |
| 12 | 5. 手術療法を受ける患者の看護 1) 術前の看護 術前の身体評価・術前オリエンテーション 2) 術中の看護 手術室看護師の役割、手術体位とその介助 | 講義 | |
| 13 | 3) 術後の看護 術後合併症の予防と対応、術後疼痛管理、早期離床の援助 4) 集中治療を受ける患者の看護 | 講義 | |

| | | |
|------|---|----|
| 14 | 医療機器の操作と管理（輸液ポンプ・シリンジポンプ・心電図モニター・DC・人工呼吸器） | 演習 |
| 15 | 終了試験（45分）まとめ（45分） | |
| 評価方法 | 筆記試験 100点満点 評価基準参照 | |
| テキスト | 医学書院：系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ <参考図書> 学研：臨床看護技術パーフェクトナビ 学研：看護技術プラクティス 医学書院：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 | |
| 備考 | | |